

授業科目

解剖学演習

担当教員名 阿部 薫	対象学年	1	対象学科	義肢
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎				

授業の概要

運動器としての四肢・体幹の骨、関節、筋、神経、脈管の名称と構造、および形態を理解する。

授業の目的

医学系科目の基礎となる人体の基本的構造を学ぶ。

学習目標

1. 四肢・体幹の骨、関節、靭帯について説明できる。
2. 四肢・体幹の筋の機能分類について説明できる。
3. 四肢・体幹の筋の局所解剖について説明できる。
4. 四肢体幹の神経と脈管の形態と位置について説明できる。
5. 四肢体幹の神経と脈管の局所解剖について説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	体幹1(骨、関節、靭帯)	講義	阿部 薫
2	体幹2(筋の機能による区分)	講義	阿部 薫
3	体幹3(筋の局所解剖)	講義	阿部 薫
4	体幹4(神経と脈管の形態と位置)	講義	阿部 薫
5	体幹5(神経と脈管の局所解剖)	講義	阿部 薫
6	上肢1(骨、関節、靭帯)	講義	阿部 薫
7	上肢2(筋の機能による区分)	講義	阿部 薫
8	上肢3(筋の局所解剖)	講義	阿部 薫
9	上肢4(神経と脈管の形態と位置)	講義	阿部 薫
10	上肢5(神経と脈管の局所解剖)	講義	阿部 薫
11	下肢1(骨、関節、靭帯)	講義	阿部 薫
12	下肢2(筋の機能による区分)	講義	阿部 薫
13	下肢3(筋の局所解剖)	講義	阿部 薫
14	下肢4(神経と脈管の形態と位置)	講義	阿部 薫
15	下肢5(神経と脈管の局所解剖)	講義	阿部 薫

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	プロメテウス解剖学アトラス(解剖学総論/運動器系)第2版	ミハエル・シュンケほか	医学書院	2011年	12,000円+税	ISBN : 9784260010689 1年「解剖学」と同じ
参考書						
その他の資料						

評価方法

小テスト、期末試験

履修上の留意点

医学系学習の基本となる重要な分野のため、繰り返し復習し理解に努めること。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：火曜3限、連絡先：メール kao-abe@nuhw.ac.jp、電話025-257-4525(L302研究室)